

第4分科会 第3会場

「通い(つどい)の場・ 居場所づくりの実践」

ピュアリティまきび 2F 千鳥(210)

演題番号 4-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	コープ診療所	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヨシダ ユミコ 吉田 由美子	恵我之荘支部 支部長	第4分科会

発表テーマ
子ども食堂を始めました

内容（発言要旨）

特に小学生の子供たちが朝ご飯を食べてこない
と、学校の先生方の話を聞き、以前から子ども
食堂を始めていきたいねという話もあり、他団
体と連携した取り組みの報告です。

演題番号 4-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川淀川健康友の会 はっぴいひめじま支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ニシムラ トシハル 西村 俊治	支部長	第4分科会

発表テーマ
地域の子ども食堂の運営に友の会支部として参 加して

内容（発言要旨）

1. 経過と現状

2017年に姫島地域に子ども食堂を立ち上げ、コ
ロナ禍で2020年2月に中止し、3月より弁当配布
形式で再開。コロナが5類に引き下げられる中、
支援も減り、財政支援を募っています。現在、利
用者は、1回150食～170食（地域の大人も含む）。
2024年度から会食でなければ、認められない助成
金もあり、月2回の内1回を会食の企画に変更。
会食時の人数制限が生じ、20～30人に。第3土曜
は作品作りを実施。

2. はっぴいひめじま支部として運営に参加

姫島地域であり、支部世話人が運営の中心を担
っていることから、健康友の会の支部として位置
付けて運営に関わっています。

人とのつながりを大切にし、困り事があれば相
談でき、子どもも親も安心しておられる居場所づく
りに貢献しています。

3. 今後の課題として

- ①必要な人（子ども・親）に届いているか？ ②
個別の支援が必要な親とのかかわり方。 ③資金
・場所の確保の困難さ。 ④スタッフの確保。⑤
地域とのかかわり方。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府羽曳野市。活動地域の人口は約 11万人。所属する共同組織の人数は5,614人。	
TEL 090-7551-7161	メール kumikatu-3@ osakaminami.net

所属している組織の概要	
大阪市の北に位置する西淀川区（人口9万5千人、 4万3千世帯）の淀川沿いの地域、高齢者人口は増 えている。子ども食堂は、10か所あります。西淀川 淀川健康友の会は10支部2万3千世帯。その中で約 2千世帯が姫島です。	
TEL 090-4907-0170	メール tosiharu0915@icloud. com

演題番号 4-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生協おおさか コープおおさか病院地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
マツヤマ カズミ 松山 和美	病院地区 古市支部運営委員 【連絡先は 担当者の梶】	第4分科会

発表テーマ
コロナ後の子ども食堂「ひまわり」

内容（発言要旨）

子育て支援として「子ども食堂ひまわり」を2017年9月より月2回16時から、地域にある旧保育園の空き施設にてスタートしました。コロナ前までは、毎回、80人程の親子で賑わっていました。

2020年初旬より、新型コロナウイルスの感染拡大により施設内での実施を中止し、約3年間、テイクアウトでお弁当などの配布を続けてきました。2023年5月からの5類への移行に伴い、施設内での食事の提供を再開、これまでは保護者も対象としてきましたが、小中学生だけを参加対象にし、今に至ります。再開当時は、少数であった子どもの参加も、1年経ちようやく50人ほどが戻って来てくれるようになりました。

現在では、食事の提供だけでなく、宿題や予習勉強、食育などにも取り組む様にもなり、子ども達にとっても安心の居場所として定着しています。今年の5月には、地域で見られなくなった大きな「鯉のぼり」を高々と上げ、元気に大空を泳いでいる姿に、ひまわりっ子たちも嬉しそうに見上げ楽しんでくれていました。今年の夏で8年目に入る子ども食堂ひまわりですが、ボランティアの力と共に安心で安全な居場所づくりに奮闘したいと思います。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府大阪市城東区の一部。活動地域の人口は約11,500人。所属する共同組織の人数は約1,200人。	
TEL 070-5560-0129	メール m-kaji@health-coop.jp

演題番号 4-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アサマ トモコ 浅間 智子	水島支部・運営委員・水島子ども食堂ミソラ♪班	第4分科会

発表テーマ
『水島こども食堂ミソラ♪』の取り組み

内容（発言要旨）

こどもが一人でも食事が出来る場所をと、2017年9月からこども食堂の活動を始めました。コロナ禍のフードシェア会を経て、本来の活動に戻りつつあるいま、6周年目の子ども食堂を振り返ってみたいと思います。

1. 現在行っていること：①地域学区コミュニティー会館を会場に、第3土曜日に昼食を提供②月1回定例のスタッフ会議を開催③子ども食堂開催後に参加者を含めた振り返り④毎月ニュースを発行⑤共同組織、他関連団体への情報発信・共有及びSNSの活用⑥地域住民、生徒・学生・教員、その他ボランティアの受け入れ

2. 取り組んだ行事：①本の読み聞かせ及びブックワゴンでの絵本提供②クラシックコンサート③高校生企画、大学生企画④18歳までの医療費無料化署名⑤長期休暇時の宿題援助企画

1. 2を通じての成果

①親子で食事を楽しめた②食後こどもには遊びの場を、お母さんにはくつろぎと交流の場を提供できた③食品や食材の提供などで地域とつながっている④参加のこどもがボランティアや主催者へと成長した⑤気になるこどもや家庭の問題を共有し、フォローできた

今後も食を中心とした、あらゆる世代の居場所作りを目指します。

所属している組織の概要	
岡山県倉敷市水島。水島地区の人口は約8万7千人。その中で水島支部エリアの人口は約4千5百人、うち組合員数は約1千6百人。	
TEL 086-448-2653	メール tanabe_a@kura-hcu.jp

演題番号 4-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	健康友の会みみはら	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
オグラ タカオ 小倉 孝雄	鳳支部 副支部長	第4分科会

発表テーマ

支部が子ども支援に取り組んでわかった「理想と現実のギャップ」

内容（発言要旨）

健康友の会みみはら鳳支部では、2015年3月に開設したともの家ちぐさで、2016年から夏休み子ども塾を、2018年から子ども食堂をスタートさせました。コロナ禍以降、夏休み子ども塾は広い地域の会館で、子ども食堂はテイクアウトで120～150食を提供していました。2022年12月念願の子ども塾（寺子屋ちぐさ）をスタートさせ、子どもたちの学習支援と居場所づくりの取り組みも始めました。始めてみると寺子屋ちぐさは、課題がいっぱい。学校や親との関係の構築など苦労がいっぱいです。子ども食堂への食材支援の有効活用のため、社協や同仁会の事業所から困っている人の紹介を受け、食材の提供をしています。私たちも直接かかわろうと「子育て中のひとり親応援プロジェクト」を立ち上げました。子ども食堂もテイクアウトをやめ、元のふれあえる子ども食堂に戻していきます。子どもへの取り組みを通じて支部の成長を実感しています。

演題番号 4-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	西淀川・淀川健康友の会 西淀うちの支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イトウ タカシ 伊藤 孝		第4分科会

発表テーマ

子どもたちが安心して通える無料塾をめざして

内容（発言要旨）

にしよど無料塾は2014年5月に開き、10年を経過した。開いた一番の動機は、所得格差が教育格差につながる状況に、すこしでも役に立てればとの思いだった。学習塾とちがい無料で学習を支援し、安心して通える居場所としての役割を兼ね備えた無料塾をめざした。教員OB、病院職員、地域の方々にボランティアを構成し、友の会、学童保育所、保育園などで募集し、子どもたちの参加を広げた。自習を支援する形式だが、やる気が出ない子もいる。ボランティアが話し相手になったり、最後にお楽しみクイズを入れたり、来てよかったと子どもたち一人ひとりが思える居場所にしていくとくみが大変だった。毎回最後にボランティアで交流会を開き、子どもたちの様子を出し合った。そうして月1回から現在週1回まで頻度を上げ、子どもたちの参加も一時は40人にまで増え、中学生は受験に向けた学習の場になった。しかし、20年2月からのコロナ禍で休止。会場も病院を使えなくなり、他団体の協力を求め半年後に再開したものの、何度も休止し、参加者は激減。今は、少数参加のほのほのとした学習支援の場になっている。開始当初から参加した子どもたちは今や高校生。いずれボランティアとして参加してほしいとエールを送っている。

所属している組織の概要

大阪府堺市にある社会医療法人同仁会を中心とする「みみはらグループ」の一員として活動。活動地域は、堺市を中心に隣接の高石市、和泉市を含め26支部。所属する共同組織の人数は23年度末時点で、41,010世帯94,111人。	
TEL 072-244-8061	メール dogishi-h@mimihara.or.jp

所属している組織の概要

大阪府大阪市西淀川区。西淀川区・淀川区人口約95,000人・183,000人。会員世帯数23,365世帯。	
TEL 090-6820-7491	メール takashi0626-1021@outlook.com

演題番号 4-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
愛知	名南会健康友の会(医療法人名南会)	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカムラ ヒロコ 中村 博子	緑支部 あすなろ役員	第4分科会

発表テーマ
地域の子どもの居場所づくり ～あすなろ(学習支援)を通して出会った子どもたち～

内容(発言要旨)

名南会健康友の会では法人の職員と共同して「あすなろ(学習支援)」や「ほんわか食堂(子ども食堂)」にとりくんでいます。この活動は地域の子どもの居場所づくりと食事の支援を目的としています。あすなろは、2020年10月から無料で開催しています。友の会と法人の中からスタッフを探し、友の会員で元小学校教諭の方を中心に、友の会員で任務分担をし、月に2回3時間ほどたまり場で学習・食事の提供・遊び・食材の支援・時には屋外活動をしています。当初は、友の会員さんの関わりだけでしたが、地域のスクールソーシャルワーカーや区役所の民生子ども課・児童相談所の方とも関わるようになってきました。友の会に入会してくれる、保護者の方も増えました。今回は、不登校の子やヤングケアラーの子たちと向き合ってきた4年間の活動を報告します。

演題番号 4-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
神奈川	よこはま健康友の会梶山支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
タアゲ エリ 田揚 江里	サークル代表	第4分科会

発表テーマ
「こどもたちが人間らしく成長するために絵本の楽しさを伝える場を地域に」

内容(発言要旨)

乳幼児期から絵を見ながら生の声でお話に触れることは、言葉の意味やイメージを広げ想像力を育てます。想像力はお話の世界だけではなく他者の心を想像する(思いやる)力を育み人間関係をつくるうえで大切です。やがて言葉で思考できるようになり、言葉によるコミュニケーションが成立します。どの子ども人間らしく成長するためにこのこのような環境が保障されなければなりません。しかし、家庭環境、図書館行政の貧弱さによって困難な状況が生まれています。私たち「わらべうたと絵本の会」は小学校や幼稚園教員経験者の会員が中心となり、親子の読み聞かせやわらべうたを楽しむ場を地域に作りたいと始めました。月1回の定例会の加え麒麟の幼稚園や保育園からの要請で出前お話会も行うようになりました。絵本の貸出しでは、1歳2ヶ月から参加している子が2歳前には自分で絵本が選べるようになってきました。本集会で活動を通じて学んだことや課題を報告させていただきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、愛知県名古屋南区・港区。	
TEL 052-692-7544	メール sosiki@mein.or.jp

所属している組織の概要	
(公財)横浜勤労者福祉協会の共同組織「よこはま健康友の会」一支部として活動しています。活動地域は横浜市東部鶴見区山側の地域(主として住宅地域)で梶山診療所を中心に活動しています。会員数は約3500世帯です。	
TEL 045-582-0167 (梶山支部)	メール tomonokai.kaziyama@gmail.com